

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	111	学校名	仙台市立 住吉台小学校	校長名	鎌田 悟朗
------	-----	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ
身近な自然や自然を守っている方との関わりを通しての活動



2 取組の紹介
オオムラサキクラブの活動と緑化活動への取組を紹介します。

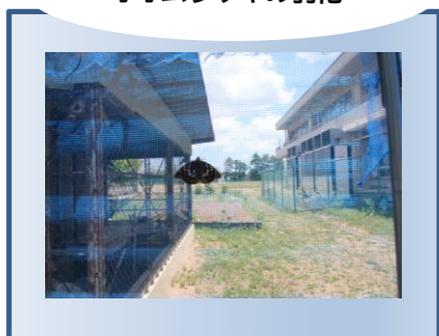
3 取組の成果

(1) オオムラサキクラブの活動と成果

住吉台の町内には、国蝶オオムラサキを飼育し、放虫を続ける活動をしている『オオムラサキの舞うふる里を育てる会』（通称：オオムラサキ会）があります。この会は、発足から32年目を迎えています。3年生の総合的な学習の時間では、オオムラサキ会の方々からオオムラサキの生態や成長について教えていただき、命を大切にすることや、生き物の生活環境を守っていこうとする気持ちを育み続けています。

近年は温暖化の影響か、数が減少し続け、1頭も見つからないこともありました。それでも、オオムラサキ会の方の尽力もあって、本年度は泉ヶ岳で7匹ほどの幼虫を発見しました。また、昨年度登米市東郷公民館より譲り受けた5頭のオオムラサキが羽化するなど、ハウスの中を舞う姿が確認されています。現在は、自然の状態に近づけて越冬を迎えられるようにするため、幼虫をエノキの根本の落ち葉に移しています。

オオムラサキの羽化



今年は、昨年度登米市東郷公民館より譲り受けたオオムラサキが羽化し、飛び交う姿が見られました。

オオムラサキのオス



オオムラサキの名前は、羽の表側の美しいむらさき色に由来しています。でも、この美しいむらさき色は、オスだけに見られる特徴です。

届いたときの幼虫の様子



オオムラサキ会の方が届けてくださった幼虫。現在は、越冬に向けてエノキの根本の落ち葉の中に移動させて過ごしています。

(2) 緑化活動への取組と成果

春は環境委員が中心となって、秋は全児童で、学校中の花壇やプランターに花苗の植え替えや球根の植え付け作業を分担して行いました。配色順も子どもたちがそれぞれ考え、学校の花壇が華やかに彩られています。7年度の春には、咲き誇った花で新1年生を迎えられるように心を込めて作業しました。

一人一人が目的意識を持って、緑化作業に取り組むことが出来たので、植物を大切にする心が今まで以上に育ってきました。



咲き誇るチューリップ

左は、校木のケヤキとその周りにある「けやき花壇」にチューリップが咲き誇っている様子です。右の花壇も、みんなで力を合わせ、整備しました。



各学年で整備した花壇